予　算　要　求　資　料

令和３年度当初予算　　　支出科目　款：衛生費　項：保健予防費　目：精神保健費

事業名　こころの健康支援費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
健康福祉部　保健医療課　精神保健福祉係　電話番号：058-272-1111（内 2545）
E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

１　事業費　　1,743　千円（前年度予算額：　1,771　千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
前年度	1,771	885	0	0	0	0	0	0	886
要求額	1,743	871	0	0	0	0	0	0	872
決定額	1,743	871	0	0	0	0	0	0	872

２　要求内容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

精神疾患は、適切な治療の継続により、その症状は相当程度安定化し、軽快又は治癒する病気であるが、国民の間で、精神疾患に関する基本的な認識は不十分である。

そこで精神疾患や精神障害者に対する正しい理解の促進を図るため、あらゆる機会を通じて普及啓発を行う必要がある。

（２）事業内容

ア：精神保健関係教室開催事業

精神疾患、依存症、ひきこもり等について、家族や県民を対象に最新知識や社会資源、精神障がい者の理解等について学習する機会を提供。

イ：地域関係者研修会開催事業

精神障がい者を支援する関係機関を対象にした研修会を保健所で開催。

ウ：退院精神障がい者支援事業

精神障がい者を抱える家族の悩みを共有しまた最新の情報を学ぶ機会を提供（県家族会に委託）

エ：精神障がい者スポーツ大会
日頃､社会参加の少ない精神障がい者がスポーツを通じて人との関わり方を学ぶと共に体力向上と社会復帰をめざす。（障害者スポーツ協会委託）

（３）県負担・補助率の考え方
国１／２　　県１／２

（４）類似事業の有無
無し

３　事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
報償費	392	研修会講師の報償
旅費	98	業務旅費、費用弁償
消耗品費	44	事務用品
役務費	44	通信運搬費
委託料	1,165	県家族会への委託、障害者スポーツ協会への委託
合計	1,743	

決定額の考え方

４　参考事項
（１）事業主体及びその妥当性
県下を対象とするため県が実施することが妥当である

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新規要求事業
■	継続要求事業

1　事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでどのような状態にしたいのか

精神障がい者が地域で安心して生活するために、地域住民の精神疾患や障害に対する理解を促す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目　標	達成率
	（H　）	（H　）	（H　）	（H　）	（H　）	%

〇指標を設定することができない場合の理由

研修会とスポーツ大会開催のための予算であるため、指標化になじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

・精神保健関係教室開催事業、地域関係者研修会を7保健所において実施。

・退院精神障がい者支援事業

R1.7.14　講演会「知ってもらいたい心の病」（大野町）131名参加

R1.10.6　講演会「知ってもらいたい心の病」（美濃市）40名参加

R2.2.1　研修会「精神保健福祉研修会」（岐阜市）102名参加

・精神障がい者スポーツ大会（サイコリンピック）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

保健所、県家族会等による一般県民への普及啓発、関係機関との連携により、精神疾患、精神障がい者等についての理解は、徐々に得られつつある。

また、県家族会は研修事業の実施等により、年々活動が活発になり力がついてきている。

２　事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） **○：必要性が高い、△：必要性が低い**	
（評価） ○	精神障がい者が地域で安心して生活できるためには、継続して理解を深めていく活動が必要である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） **○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない**	
（評価） ○	精神障がい者等についての理解は、徐々に得られつつある。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） **○：効率化は図られている、△：向上の余地がある**	
（評価） ○	精神障がい者の家族を支援する県精神保健福祉会連合会（県家族会）や、障害者スポーツ協会の専門機関に委託していることで、事業を効率よく実施できている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業を継続し、理解を深めていくことが必要である。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 精神保健福祉法の改正が行われたことも含め、精神障がい者や家族の抱える問題をテーマとした研修会を実施し、県民の理解を深めると共に、精神障がい者や家族ができることも考えていく場とする。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果　など	